

**頑張る部活動 (9月~11月)**

★吹奏楽部:写真右 第41回アンサンブル  
コンテスト  
地区大会



写真⇒  
金管七重奏 銅賞  
クラリネット  
六重奏 銅賞  
←写真



★フォークソング同好会:  
11月12日第5回軽音楽新人大会予選ライブに出場  
年明けにはルーキーズフェスという大会もあります。  
今回は KANA-BOON のないものねだりという曲を演奏  
しました

★書道部:  
高校生新聞10月10日号  
の1面を飾りました。⇒



- 第14回安芸全国書展高校生大会  
南不乗賞 書道美術館賞 優秀賞 入選6名
- 第16回岐阜女子大学全国書道展  
準大賞 書道展賞3名 大学賞9名
- 第26回国際高校生選抜書展(書の甲子園)  
団体:「北関東地区」優秀賞  
個人:秀作1名 入選14名
- 第33回日本高等学校書道公募  
特選 準特選
- 第15回川高書展  
9月30日(土)、10月1日(日)の2日間、川口駅東口/キューポラ  
広場にて、開催しました。今年のテーマは「愛」です。野外展示  
には臨書作品29点を展示しました。当日は、多くのお客様がご  
観覧下さいました。ありがとうございました。



平成29年12月5日



(川高書展でのパフォーマンス)

★演劇部:埼玉県演劇祭 南部地区秋季発表会出場  
★サイエンス部:写真右⇒  
11/14川口市立科学館での「わくわく屋台村」イベント  
に参加。来場した子供達と重りで動く「カップダンス」  
を作りました。

★男子テニス部:県新人大会  
シングルス1名出場 ベスト64、団体戦出場  
★女子テニス部:県新人大会  
シングルス1名、ダブルス1組出場  
団体戦ベスト64



★ラグビー部:写真左  
第97回全国高校ラグビー埼玉大会  
川口 55-12 合同C(楠川西・深谷商業・熊谷農業)  
川口 28-62 慶應志木  
南部地区新人戦予選  
川口 88-0 合同(浦和学院、秀明英光)

★男子バスケットボール部:  
写真右⇒  
新人大会南部支部予選会(11月)  
1回戦 川口 59-56 浦和学院  
2回戦 川口 78-76 栄東  
(県大会出場決定)  
3回戦 川口 52-56 浦和実業



★女子バスケットボール部  
新人大会南部支部2回戦 川口 48-50 浦和商业  
夏季南部支部3回戦 川口 43-65 上尾鷹の台  
ウインターカップ予選3回戦 川口 27-98 浦和一女

★女子バレーボール部:写真下  
1年生大会 南部支部大会 5位  
選手権大会南部支部予選会  
川口 2-1 いずみ  
川口 0-2 国際学院

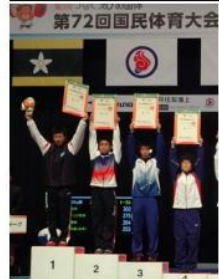


★卓球部:  
南部支部大会  
男子団体 1回戦 川口 3-2 開智一貫  
2回戦 川口 1-3 蕨

★柔道部:写真下  
秋季南部地区大会  
男子 団体ベスト8 個人 100Kg級3位  
県大会出場(1名)  
県新人大会  
男子 団体ベスト16



★ウエイトリフティング部:



(1)第72回国民体育大会入賞  
(写真右左)競技は10月7日(土)  
「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」  
(愛媛国体)  
竹本 選手  
少年男子 62kg級で出場  
会場:新居浜市市民文化センター  
(愛媛県新居浜市)

C&Jジャーク 第4位 (121kg)・トータル 第8位 (219kg)



★サッカー部:

第96回全国高校サッカー選手権大会  
第一次予選  
2回戦 川口 5-0 川越工業  
代表決定戦 川口 0-3 細田学園  
2017U18 SS2リーグ  
第6位 (11/24現在、第14節終了時点)



★野球部:

第34回高等学校硬式野球  
強化大会 (川口市野球連盟主催)  
強化試合  
川口 3-4 文京  
準決勝  
川口 2-3 南校



★陸上部:

県新人大会  
男子 400m 出場 800m 準決勝進出  
岡崎 智輝(2-5)  
4x100mR, 4x400mR 出場  
走高跳 出場 丸山 幹太(2-6)  
女子  
4x100mR, 4x400mR 出場  
高校駅伝 県予選会  
男子、女子ともに出場

★美術部: 埼玉県高校美術展 出展

(10/28~30 埼玉県立近代美術館)

【川高の自然11月14日】アメジストセージ

少し厚みのあるベルベットのような質感の暖かい紫色のお花が咲いています。宝石のアメジスト(紫水晶)の色合いに見えることからアメジストセージと呼ばれています。

茎の上部又は枝先に総状花序にたくさんのお花が付き、萼も紫色をしています。シソ科の多年草でサルビアの仲間、原産地はメキシコ、中央アメリカです。葉は長楕円形で茎に対して十字に対生します。セージは食用と観賞用がありますが、川高に咲いているのは観賞用です。

柔らかな手触りがピロードのようでもベルベットセージとも呼ばれています。花が寄り添って咲くことから、「家族愛」という花言葉が付いています。



【川高の自然11月6日】イチョウ



(グラウンド手前)

「生きた化石」といわれているイチョウは、古生代の終わりから中世代中頃まで全世界に繁茂した裸子植物です。当時は17種類ありましたが、現在は、1種類のみです。

幹がまっすぐ伸び公害にも強いので、街路樹としても多く植えられています。イチョウの葉は扇子を広げたような形状で、秋には美しく黄化し、陽光を浴びて全木黄金色に輝きます。散り敷かれた黄色い絨毯も晩秋の風物詩の一つです。イチョウは雌雄異株で、落葉の季節には雌株に銀杏の実がなります。殻がつぶれた銀杏の臭さはご存じの通りですが、茶碗蒸し、おでん等に入れると美味です。但し、神経毒成分を含むため食べ過ぎは禁物です。イチョウは長寿の木で、国の天然記念物である青森県の北金ヶ沢のイチョウは樹齢が1000年を超えています。樹高31メートル、幹周り22メートルと1本でも山のように見え、世界最大級のイチョウといわれています。なお、「イチョウ」はお隣東京都の木に指定されています。

【川高の自然10月】 瑠璃茉莉

(選択教室Aの前の花壇)



秋は紫色のお花が多いと感じるなか、ひときわさわやかな瑠璃色(水色)のかわいいお花が咲いています。アフリカ原産の瑠璃茉莉(るりまつり)、別名ブランパーゴです。瑠璃茉莉の瑠璃は「青い花色」から茉莉はジャズミン(茉莉花)に似ていることからつけられました。夏から秋にかけて長い間、水色のくっきりした5枚の花弁のお花が咲きます。

一方、ブランパーゴはラテン語の「plumbum(鉛)」が語源でこの植物が鉛中毒の解毒に効くことからだそうです。「幸せの青い鳥」、「結婚式のサムシングブルー」(花嫁が何か1つ青いものを身につけると幸せになれるという伝説)などですが青い水色に魅了されるロマンチックな気分になるのは私だけでしょうか。

(化学準備室の前の花壇)



【川高の自然10月13日】コルチカム

淡紫色の美しい花を見つけました。「芳香を放つハーブ」のサフランかと思いましたが赤い糸のように伸びた雌しべ3本が見当たりません。調べてみたところユリ科の球根植物のコルチカム(イヌサフラン)でした。

原産はヨーロッパ、北アフリカで、約60種類が中央アジアやインドにまで広く分布しています。コルチカムは春に葉を出しますが夏になると枯れて休眠します。そして、秋になると花を咲かせます。花は一重のものや八重のものがあります。

コルチカムの球根や種子にはアルカロイドの一種コルヒチンが含まれており、通風やリウマチの薬として利用されています。しかし、有毒ですので食べてはいけません。名前の由来は、ギリシャ神話に登場する女王メデアの生まれた町「コルキス」に多く生えていたことにちなんでつけられているそうです。

【川高の自然10月4日】中秋の名月

(川高の桜の木と共に)



日本には古くから、秋の名月を觀賞する「お月見」の風習があります。もともとは中国で行われていた行事が我が国に伝わったそうです。今年は昨日、10月4日が旧暦8月15日の「中秋の名月(十五夜)」でした。

十五夜には秋の収穫に感謝する収穫祭の意味もあるため、稲穂に見立てたすすきを飾り月見団子や里芋、枝豆、栗などの収穫物をお供えて満月を愛でます。特に秋口に収穫される里芋にちなんで「芋名月」と呼ぶことがあります。

また、約1か月後(今年は11月1日)には、樋口一葉の小説にもなった十三夜(後の月見)があり、こちらは別名「粟名月」と言います。秋の夜、ちょっと空を見上げてみてください。

上記の記事は川高HPの【川高の自然】からの抜粋です